



DNW-22005 の概要

課題名 : 非古典的脱リン酸化酵素複合体に対する活性化薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

森田 剣 (国立大学法人東京大学医学部附属病院)

ステージ : 標的検証後期

【標的疾患】

急性骨髄性白血病、急性リンパ芽球性白血病、慢性骨髄性白血病

【創薬標的】

非古典的脱リン酸化酵素複合体 X

【創薬コンセプト】

白血病細胞をはじめとするがん細胞の悪性化に関わるリン酸化を抑制すると考えられる非古典的脱リン酸化酵素複合体 X を選択的に活性化し、抗腫瘍効果を示す。

【ターゲットプロダクトプロファイル】

再発・難治性急性骨髄性白血病、再発・難治性急性リンパ芽球性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化症例に対する治療薬の創出。また、標的機能ががんの悪性化に寄与しているその他のがん症例に対する適応拡大。

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI により明らかにされている。

- 1) 古典的脱リン酸化酵素複合体に作用する特異的活性化薬の創出を世界に先駆けて達成した。
- 2) 脱リン酸化酵素複合体の構造と生物機能の解析を種々の生化学的手法を駆使して推進した。

【科学的、技術的な優位性】

先進的な創薬アプローチによる、ファーストインクラスの創薬探索技術を駆使し、医療ニーズの高い難治性の標的疾患の治療薬を探索する創薬研究。

【支援ステージにおける目標】

創薬標的を選択的に活性化する低分子化合物を探索し、その生物活性を解析することにより、創薬コンセプトの妥当性を検証する。

【関連特許】

無し

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。